



夕方5時過ぎに事務所を訪ねると奥の方から「あ〜どうも」とやさしい声が聞こえた。やさしい声の主は、黒ブチ眼鏡とひげが特徴的な小梅枝祐二さんだった。

祐二さんの後から、ひよこっとな出てきたのは、自分の名前入りTシャツを着たもうすぐ2歳になる更紗ちゃん。

パパだけじゃなくて私も取材してと言わんばかり真向かいに座りお絵かき帳やお話をしてくれるとても愛嬌のある更紗ちゃんだった。

祐二さんは、鹿屋高校から九州大学理学部へ行き、現在の仕事に就いたそうだ。理学関係の仕事に就こうと思わなかったんですか?と尋ねると、にこっと笑いながら『山や海、自然が好きで』と答えが返ってきた。大学時代は探検部に所属し、色々な山や洞窟を探検し奥さんの由美子さんと結婚する前は、1人

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第48回目は、中村自治会の小梅枝祐二さんです。

◎48人目

小梅枝 祐二 さん 【中村自治会】



『パパのひげ〜』とからいも畑でポーズをとる小梅枝さん家族

祐二さんは、地域活動にも積極的に参加しており、商工会の理事としても夏祭りやイベントを盛り上げている。
趣味を尋ねると、『特にスポーツなどはやっていませんが、海が好きなので潜って魚を採ったりする事ですかね〜』とアウトドア好きの祐二さん。最近はや山や洞窟などに探検行っているが、取材をしていて感じたことは、祐二さんの探検先は、現在『農業』と『更紗ちゃん』に向いているように感じた。
祐二さんは家族を愛し、錦江町の自然を愛し、自然を愛する好青年だった。

でも山に探検に行くくらい自然や地質学に興味があるそうで、自然豊かな田代地区で働ける事がうれしらしい。取材をしながら顔のひげはその時の慣習か!と感じたところでもあった。
現在、祐二さんは田代建設に勤め、10年になるそうだ。建設業の傍ら、焼き芋やかぼちゃなどを生産し販売する(株)美農里の代表としても頑張っている。
からいもやかぼちゃ・高菜を主に生産しており、昨年は雨が

少なかった為、からいもを何度も植え直したりと大変だったが、現在青果用・でんぷん用合わせで2町5反ほど生産している。
農業を始めてみてどうですか?と尋ねると、『中々ですすよ。あせらずがんばります』と笑顔で答えた。
生産だけでなく販売まで大変ですねと尋ねると、『徐々にです。得意先も出てきたり、妻にも販売先を見つけてもらったりと助かっています。』と話した。

「今月の表紙」大募集!

「広報きんこう」では、表紙に登場して下さる方を募集いたします。

今年度の表紙のテーマは「絆」です。家族の絆・夫婦の絆・仲間との絆、いろいろな絆があります。あなたの絆を広報紙という形で残してみませんか?自薦他薦は問いません。

詳細についてのお問い合わせや推薦などは下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 役場企画課 未来形成チーム(すずな)
Tel.0994-22-3032



EDITORS

●梅雨に入りじめじめした季節になりました。台風2号も早々と発生し、今年はどんな自然災害が発生するか…心配です。昔から「かえるが鳴くと雨」、「ツバメが低く飛ぶと雨」など天気に関することわざが色々あります。調べてみると、かえるは天気の良い日は乾燥するので陰にじっとしている事が多く、湿度が高くなれば外に出て行くため、雨が降りやすいとい

うことで、このようなことわざが付いたそうです。他にも色々ことわざや言い伝えなど、調べてみれば少しはジメジメした梅雨も楽しくなるかもしれませんね。

●最近、錦江町内の居酒屋さんが夜だけではなく昼もオープンしたと聞き、色々食べ歩いています。炙り亭のスタミナ丼、マ

ルガリータの生姜焼きなどなど。これまで定番の屋敷屋さんとして栄食堂や弥次喜多、柳などに加え、錦江町内に食べる場所が増えた事はうれしい。町内外の方にも「麺系はココがあり、丼物ならあそこがあるよ」と色々紹介しやすい。選ぶ幅が増えるのはいいが、これ以上体重が増えないように気をつけようと思う。けど、今日も錦江町うまか店発掘の為にがんばろう!😊



発行/錦江町役場

■編集/企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

■ホームページ/ <http://www.town.kinko.lg.jp/> ■印刷/南大隅新生社印刷

